

『設計BIMの可能性』

～BIMモデルの活用で、プレゼンも天空率も概算積算も省エネ計算も～

建築設計業界は既にデジタル無くしては設計が出来ないところまで来ています。2025年にはBIMを前提とした確認申請の試行も始まります。

今回のセミナーはBIMが当たり前になりつつある中で「もっとBIMデータを活用した設計をするには！」ということをテーマに掲げたセミナーを企画しました。Archicadの教本を執筆されている株式会社BIMLABOの新（あたらし）様の事例紹介。そしてArchicadのアドオンを開発されている3社にお越しいただき、各アドオンでどのようなことが出来て、どのようなメリットがあるかをご紹介します。

日時：2024年3月2日（土）13:30～17:30

会場：アン・フォールド京都
京都市上京区広橋殿町410

定員：30名 参加料：無料

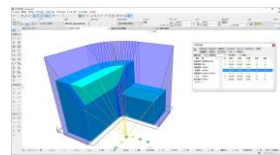


COST-CLIP



省エネ計算を、いつでも何度でも

BIM sustaina
for Energy



【BIM事例紹介】

株式会社BIMLABO 新 貴美子様

【ソフト紹介】

- ①意匠設計BIMソフト Archicad27の紹介 グラフィソフトジャパン株式会社
ー優れた操作性と高い汎用性が特徴の国内トップシェアのBIMソフト、近年では学生の間でも急速に浸透してきている！ー

【アドオンソフト紹介】

- ②日影・逆日影・天空率計算アドオンシステム ADS-BTの紹介 生活産業研究所株式会社
ー斜線で当たっていた設計した建物が、天空率でクリア！ー
- ③BIMアドイン概算システム COST-CLIPの紹介 株式会社日積サーベイ
ー初期段階からコストを把握しながらの設計が可能に！ー
- ④非住宅の建物性能を確認できる省エネ計算ツール BIM sustaina for Energyの紹介
株式会社トッパンコスモ
ーモデル建物法の特徴を生かし、設計初期から省エネ性能を把握し、手戻りリスクを無くす！ー

お申込みは
QRコードorリンクから
お申込み下さい



<https://forms.gle/N6sCqZkbtstoJqVWA>

BIM事例紹介：新 貴美子氏

プロフィール
1971年 大阪生まれ ATELIER NEWS 代表。
個人の建築設計事務所勤務後、2001年にATELIER NEWSを設立し、おもに住宅設計や店舗設計に携わる。
2011年、BIM LABO設立時のメンバーとして参画し、設計業務と並行しながらBIMコンサルティングも担う。
GRAPHISOFT社認定のGRCメンバーで、2022年にGRAPHISOFT社認定のArchicad BIM マネージャーを取得。

